

十二月田中学校の生徒の皆さんへ・Vr2

校長 山角 厚志

全国中学大会 中止の方針 4月25日(土) 埼玉新聞より

高校総体 初の中止 4月27日(月) 埼玉新聞より

予想されたこととはいえ、中体連に関わっていた者として大きな衝撃を受けました。

これは何を示しているのでしょうか？何を守ろうとしているのでしょうか？

大きな希望や夢を奪ってしまう無念さに対して、この決断をした大会運営者にもつらい思いがあったと思います。苦渋の中での大決断を下した背景には、生徒一人一人の命を守るためのものだと思います。

以下高体連の会長の談話の一部を抜粋します。

「夢の舞台を中止にした判断の向こうには、大きな悲しみがあることは痛いほど承知しております。ただ皆さんの夢を奪うものではなく、安心・安全や命を守るためでした。

～中略～ 是非スポーツに生涯関わって下さい。自分を、他人を守る、対策をとっていただくようお願いいたします。」

私自身も少なからず中体連に関わってきたので、多少ですが、中のことはわかるつもりです。本当に苦しい決断だったと思います。

これを受けて県の大会、市の大会も大きな舵を切らなくてはならないと思います。大会のあり方は、どんな結果になったとしても、皆さんの命を守ることが最優先での決断であることには変わりないと思います。

今は自分の命を守るために、行動を自制していきましょう。

私も、休みの日は、早朝散歩・用水沿い6km(5時20分から6時40分)と食料の買い物以外は、自宅にいます。トマトとキュウリの苗を植えました。(妻は冬の間は、庭に除草剤をまくので、植えるところにひと苦労します。妻との見えない戦いです。)

普段の生活も、基本は早く帰る以外は変えていません。朝起きる時間、学校に行く時間、食事の時間も同じです。

家にいるときは、普段出来ない押し入れ棚の整理や掃除をしたり、ためてあった録画ドラマ(原作・今野敏の刑事物を中心のもの)をみたり、本を読む時間が一気に増えました。

ただ、市の図書館が閉館しているので(私は地元の図書館で月に3冊借りるのが定番です)、家にある本を読み返しています。朝起きて、1日の計画をひと通り立て、TVは見る番組を決め、自分に必要のないTVの時間は避けるようにしています。でもついついだらだらしてしまうこともあります。

5月7日の再開については、これから国や県が出す方針に従う予定です。実施できることを前提に進めていますが、そうでないことも十分予測しながらの柔軟な対応となります。見えない敵に対して「不撓不屈の精神」でこの難局を乗り越えましょう。

最後に、生徒の皆さんに一言 **【習慣が、意外と差がつくこの時期の学習】**